株式会社コスモテック

需要獲得 ものづくり

福島県郡山市

JICA事業を活用しベトナム進出に挑戦
産学連携で地域経済活性化にも貢献

産業用機械のオーダーメイドによる開発受託やメンテナンス等を主要事業とし、顧客の専門分野に合った設計・製造に定評がある福島県郡山市のエンジニアリングメーカーである。設備機械の設計や自動制御機器の開発で蓄積された技術力で、「人にやさしいシステムを商品化する」という基本理念のもと、「福祉」「環境」「食の安全」「リサイクル」をテーマに、介護福祉や省エネ機器の自社商品開発にも取組んでいる。

●所在地	福島県郡山市喜久田町字菖蒲池22-438
●電話／FAX	024-959-5501／024-959-5503
●URL	http://cosmotec-kk.jp/pc/company.html
●代表者	代表取締役社長　谷島　昇

●設立	1990年
●資本金	7,500万円
●従業員数	19人

JICA事業を活用しアジア諸国への事業展開を目指す

今後さらにアジア諸国で高齢化が進み、国内外で介護福祉関連機器の需要が拡大していくと予想される。そのため、顧客がより購入しやすいよう製造コストを削減していく必要がある。同社は、ベトナムでの生産を念頭に、価格競争力と高品質を併せ持った製品を生産することで、アジア諸国の大きな需要の獲得を目指す。すでに、JICA基礎調査を活用して、同国における介護福祉分野の事業性等を確認。現在は、現地法人を設立し事業展開を進めている。

歩行補助いす「コスモウォーカー」

大学や地元企業との連携を通じた地域経済活性化への貢献

同社では、国立大学や自治体、介護福祉施設との連携を通じて、現場ニーズに応じた介護ベットや身体障害者向け機器の開発・製造を行ってきた。連携先は、北海道岩見沢市の福祉施設、岩手大学、山形大学、東北大学、筑波大学等、多岐に渡る。また、同社のもう一つの柱である特注機械の設計製造事業（エンジニアリングサービス）は、福島県の多くの地元企業と協力関係を築いて展開している。同社のベトナム進出により受注が増えることで、地元企業の業績向上に貢献が期待される。

脚漕ぎ車椅子（福島大学から依頼）

復興や地域経済活性化への貢献

東日本大震災・原子力災害により、福島県は放射能汚染問題で大打撃を受けた。同社では、除染トラックを開発し、郡山地区や本宮地区等の道路除染に貢献した。また、震災で県内の10万事業所のうち1万事業所が閉所するなか、同社は海外展開にチャレンジすることで、地域企業に元気を与えてきた。同社のチャレンジは、福島県が打ち出した「新生ふくしま産業プラン」における重点プロジェクトの、「中小企業の復興」と「医療関連産業の強化」に貢献するものである。

震災復興に貢献した除染トラック